



持田 沙織

この度は、和歌山病院で二日間実習させていただきありがとうございました。今回の実習では副院長の駿田先生には結核についての講義をしていただきました。結核は感染してしまったら恐ろしいもののように思っていたのですが、講義を聞いて認識を改めさせられました。また、結核病棟の見学では、N95マスクをつけて陰圧室に入ることが重々しいことだと思っていたのですが、それは感染予防目的であり、当初予想していた重く暗い印象は全く感じませんでした。それどころか病棟内は日差しが差し込んでいて患者さんが過ごしやすく明るい印象を受けました。結核病棟に入ることは初めてのことであり、とても勉強になりました。院長である南方先生には、レントゲンの読み方を論理立てて説明していただきました。今までは、レントゲンを見てもわからなかったものが、先生の講義のおかげで読影することの苦手意識が取り払われた気がします。読影することは将来必須なことであるので、先生の講義を受けることができ本当に良かったです。二日間はあっという間で、とても有意義なものとなりました。最後になりますが、和歌山病院でお世話になった先生方、スタッフの方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。